

おきピタっと 施工説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
事前に、本説明書を必ずよく読み、手順通りに正しく貼り付けてください。

おきピタっと 施工動画

製品の貼り付方は、動画でもご確認いただけます。



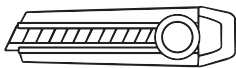
梱包内容

製品サイズ: 2.5 x 150 x 914.4mm
入り数: 25枚/ケース (3.42㎡)
施工説明書: 1冊
本製品は、一般住宅向けに既存床の上から貼り付けるタイプの内装材です。

貼り付けができる床面

- 貼り付け出来る下地 → 表面がつるつるした平滑なフローリング、クッションフロア等
- × 貼り付け出来ない下地 → 表面がざらざらしたモルタル、コンパネ、畳、カーペット等

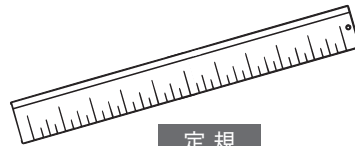
貼り付ける際に必要な道具



カッターナイフ



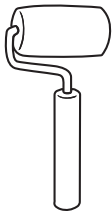
メジャー



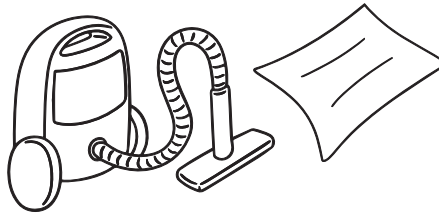
定規



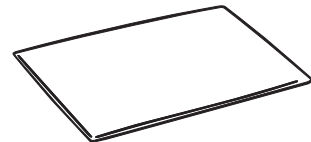
手袋



床材用圧着ローラー



掃除道具/掃除機・雑巾(アルコールタオル)



カッティングボード

1 安全上のご注意

本製品を安全に使えるように、以下を必ず守ってください。

⚠️ 注意

⓪ 以下の場所には貼り付けないでください

裏面の粘着剤を床面に接着して使用しますので、既存の床面に十分接着せず、浮き上がりや段差が生じた場合、つまづいてけがをするおそれがあります。

段差 (0.5mmを越えるもの)	表面に損傷のある床面	モルタル・コンクリート	木質下地材 (合板、MDF、パーティクルボード等)
不陸 (表面が波打って見えるような床)	畳、カーペットなど 柔らかい素材	凹凸がある床面	クッションフロアの梨地調 (表面にざらざらした凹凸があるもの)

- ⓪ 本製品は一般住宅用ですので土足での使用は避けてください
- ⓪ 床暖房の上には貼り付けないでください
- ⓪ 本製品の貼り付け作業は5℃以下では行わないでください(望ましくは15℃~25℃)
- ⓪ タイルの継ぎ目を詰めすぎず、ゆるめに貼り付けをお願いします
(ゆるめとは、名刺1枚分の隙間を空けることを意味します)

2 使用にあたってのご注意

- **電気(ホット)カーペットを使用しないでください**
使用すると、目地隙、剥がれ、膨れ、突き上げ、変色などの原因になります。又、温風ヒーターをご使用の際は、風を直接あてないでください。
- **キャスターの使用はしないでください**
キャスター付きイスおよび家具を使用しても破損したり表面にへこみ・傷が生じにくい製品ですが、付かないということではありません。特に金属製や球形状のキャスターは表面を傷めやすいのでご注意ください。
- **貼り付け後に重量物を本製品に置く場合**
脚部にインシュレーターや小さな板などを敷き荷重を分散させてください。(目安4kg/cm以下)
※敷板の目安としては、アップライトピアノ約5cm角以上、グランドピアノ約6cm角以上。
移動させる場合は、引きずらないでください。
- **テーブル、イス等の家具の脚について**
テーブル、イス等の家具の脚などの局所荷重により、へこみ跡が付く場合があります。引きずると、床材表面を損傷する恐れがあります。ゴムキャップは、種類により色移りすることがあります。色移りすると取れませんのでご注意ください。
- **長時間濡らしたまま放置しないでください**
粘着面に液体が入り込むと、粘着力が低下し剥がれやすくなります。また、変色やカビ、臭いの原因になりますので水がこぼれたらすぐに拭き取ってください。
- **水のかかる場所で使用する場合は、必ず足拭きマットをご使用ください**
キッチンや洗面所、脱衣所など常に水のかかる場所については滑りやすくなり危険です。
- **長時間直射日光が当たる場所では、カーテン・ブラインドで日よけしてください**
長時間直射日光が当たる場所では、変退色が早くなります。
- **強い作用を持つ洗剤、漂白剤などは使用しないでください**
強い作用を持つ洗剤、漂白剤などの化学物質や、マジックインキや毛染め剤などの汚染物質及びゴム製品等により劣化や変色を招く場合があります。
- **車イスを使用する場合**
車イスの繰り返しの使用や、車イス自体の材質・形状などの条件によっては、表面にキズや汚れが付くことがあります。屋外でご使用になった車イスを乗り入れると付着した土砂で、床表面に傷が付くことがありますので土砂をはらってください。

3 材料の特徴としてご了解頂きたい現象

- **反り、突き上げ・目隙き・波打ち**
反りや突き上げ(繋ぎ目部分の盛り上がり)、目すき(継ぎ目部分にすき間ができる)、波打ちが発生することがあります。材料の特性上、発生する現象ですのでご了承ください。
- **退色・変色などの経年変化**
床材を長く使用していると経年変化により退色したり変色したりすることがあります。光や熱があたる部分とあたらない部分で色合いに差が生じることがあります。

4 貼り付け前のご注意

- **製品の確認**
梱包ケースに記載の品番、数量などを確認し、貼り付けを開始してください。またタイルの裏面の矢印で流れ方向をご確認ください。方向が変わると色相差のように見えることがあります。
- **貼り付けをする部屋の温度に慣らしてください**
貼り付けを行う1日前から製品を置いて十分なじませてください。
- **保管の際は、平坦な場所で平置きしてください**
製品を保管する際は、平坦な場所で平置きし、6段以上積まないで下さい。不陸のある床の上に保管すると歪みや癖が発生し、仕上がりが悪くなります。直射日光の当たる場所での保管は避けてください。

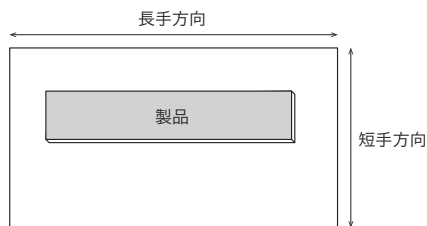
5 貼り付けする上でのご注意

⚠ 注意

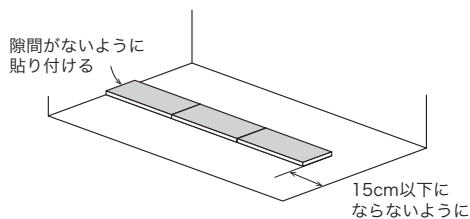
- ① **ホコリや汚れ、ワックスが付いたままで、貼り付けをしないでください**
製品に浮きが発生し、浮いた部分でつまづいてけがをするおそれがあります。
- ② **水濡れしたままの下地には貼り付けないでください**
粘着が低下し剥がれやすくなります。また、変色やカビ、臭いの原因になりますので水分は拭き取ってください。
- ③ **貼り付ける床面に段差や床鳴りがないことを確認してください**
床面の段差は0.5mm以内とし、段差がある場合はカンナ、サンドペーパーなどで平滑に調整してください。(0.5mmは名刺1枚分が目安になります)
- ④ **扉を開閉する場所がある場合は、扉の下と床面に最低5mm以上のすき間がある事を確認してください。** (5mmは100円玉3枚分が目安になります)
- ⑤ **本製品を取り外した際、既存の床材によっては粘着剤が残る場合がありますが、ご了承の上、貼り付けてください**
粘着剤が残っている場合は、中性洗剤等で拭き取ってください。

6 貼り付け方

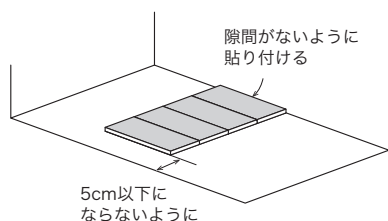
- ① **下地の準備をする**
掃除機や雑巾を使い、床面のホコリや汚れをきれいに取り除いてください。
- ② **部屋の採寸**
部屋の2辺をメジャーで採寸します。製品の必要枚数を計算します。



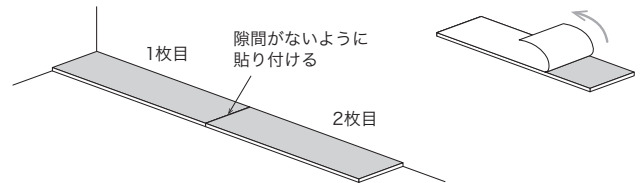
- ③ **仮置き**
貼り付ける方向を決めます。製品を仮置きすることをお勧めします。
長手は、部屋の端から並べて最後に15cm以下のものがこないように貼り付けていきます。15cm以下になる場合は、始まりを15cmカットして貼り始めてください。



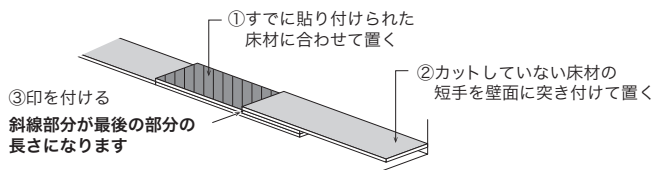
短手を部屋の端から貼り付けていく場合、両端に5cm以下のものがこないように貼っていきます。5cm以下になる場合は、始まりを半分にカットしてください。



- ④ **製品の貼り付け**
裏面の保護フィルムを10cmほど剥がし、長手方向から貼り付けをおこないます。壁際に突き付けて1枚目の位置を決め、端を固定します。固定した製品箇所を押さえ、保護フィルムを剥がしながら貼り付けていきます。保護フィルムを剥がしきったら、製品をしっかり押さえてください。残りの幅が1枚分より短くなるまで敷き詰めます。

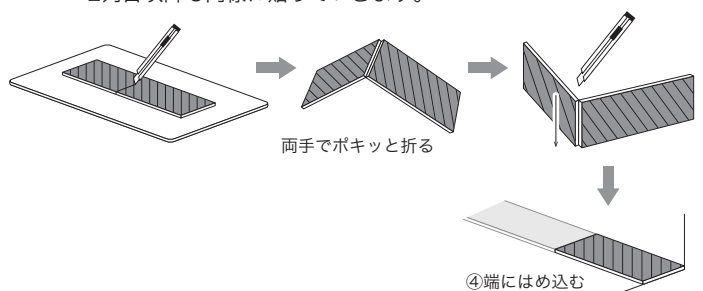


- ⑤ **端のカット方法(長手方向 最後の貼り付け方)**
最後から2枚目に、裏面の保護フィルムを取らずにカットする新しい製品をピッタリ重ねて置きます(①)。その上にガイドとなる新しい製品を壁側の端に突き付けて置きます(②)。重なった部分にカッターで印を付けます(③)。



製品のカット方法

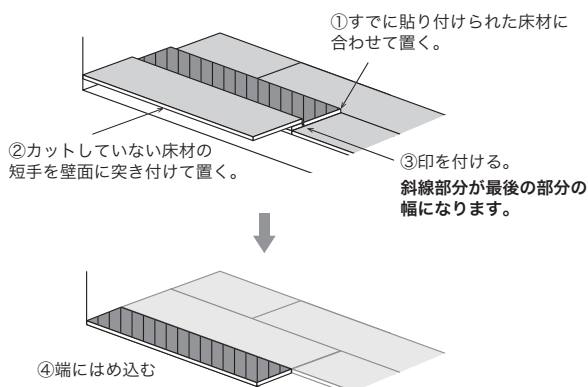
カッティングボード、または製品に同封されている型紙を下敷きにして、2~3回カッターで切り込みを入れます。切り込んだ箇所を中心に両手で曲げ、折れた部分をカッターでカットします。裏面の保護フィルムを剥がして、壁側の端にはめ込みます。(④) (端に15cm以下のものがこないように注意してください。) 2列目以降も同様に貼っていきます。



6 貼り付け方

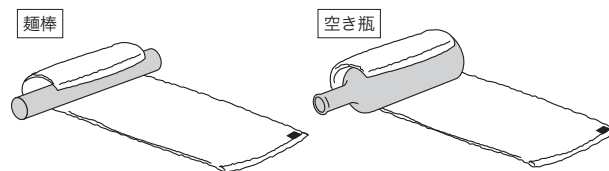
⑥ 端のカット方法(短手方向 最後の貼り付け方)

最後から2枚目に裏面の保護フィルムを取らずにカットする新しい製品をピッタリ重ねて置きます(①)。その上にガイドとなる新しい製品を壁側の端に突き付けて置きます(②)。重なった部分にカッターで印を付けます(③)。⑤製品のカット方法と同様にカットし、壁側にはめ込んでいきます(④)。



⑦ ローラー掛け

最後にローラー掛けを行ってください。床材用圧着ローラーが無い場合は、おさえる力を均等にかけることが出来るような、ご家庭にある麺棒や空き瓶にタオルなどを巻き付けて代用してください。全体にローラー掛けができれば完成です。



7 日常のお手入れについて

本製品を美しく保つためには、日常のお手入れが重要です。基本的にワックスを塗布する必要はありません。ただし、より汚れや傷を付きにくくするためにワックスを塗布することができます。

○ 日常のお手入れ

掃除機や固く絞った雑巾で床のゴミやホコリの汚れを取り除いてください。

○ ワックス掛け

ビニル床タイル用の樹脂ワックスをモップや雑巾に浸して軽く絞り、床に2~3回塗布します。タイルの継ぎ目部分の隙間にワックスが入らないようにしてください。

8 廃棄上のご注意

本製品(樹脂:ポリ塩化ビニル)、裏面保護フィルム(ポリエチレン)を廃棄する際は、法律及び地方自治体の規制に基づき適正に処理してください。